

学校で、子どもとの関わりについて話し合おう！

思春期は、子どもが社会に出て立ち立つ準備の時期です。そして、思春期の子どもたちは、様々な不安や葛藤の中で成長するため、心身ともに不安定になりやすいと言われています。そのため、高校生の時期の子をもつ保護者の方たちは、戸惑いや悩みが多いのではないのでしょうか。そこで、保護者同士が子どもとの関わりについて話し合い、お互いの悩みを軽くしながらネットワークを広げ、子どもたちの成長を見守っていただけるよう、当センター生涯学習部では、県立学校での「親学習プログラム」実施を支援しています。

参加型学習の「親学習プログラム」を実施することで、保護者同士が話し合い、親として子どもにどう関わるかを考えるきっかけにすることが期待できます。

令和元年度は、県内5校で6回、当センター支援によるプログラムを実施しました。実施テーマは

- ・「進路の実現に向けて」
- ・「1学年から考えたい進路選択」
- ・「我が子の進路とどう向き合っていますか？」
- ・「思春期の子どもとの向き合い方」

です。

以下に、当日の様子と、本プログラムを実施した学校の先生の感想を紹介します。



初めて会った方とグループになり、最初は戸惑っている方が多かったように見受けられました。しかし、グループごとに司会役が中心となり、和やかな雰囲気の中でも、熱心な意見交換が行われました。どのグループも提示された時間では収まりきれないくらい、熱心に話し合っていました。

同じ年齢のお子さんの家庭での様子を共有できたり、上に兄弟がいる方からアドバイスなどをもらったりと、参加した保護者にとって有意義な時間になったと思います。今後は、PTA総会など学年が混在するグループで行えば、新たな発見があると思いました。

親学習プログラムの開始時にはよそよそしい雰囲気が漂っていましたが、ファシリテーターのウィットに富んだお話を伺い、一気に雰囲気が和みました。そして、グループになっての話し合いでは、おそらく初対面の人が多い中にもかかわらず、驚くほど和気あいあいと話が進んでいました。同じ学校の「保護者」だからこそその悩みなども打ち明けていらっしまったようです。

本校では、運動部に所属する生徒の保護者は、各部活動の保護者会等で保護者同士の交流は図られますが、運動部に所属していない生徒の保護者は、いわゆる「横のつながり」を持つ機会はほとんどありません。そこで、1学年部会において、横のつながりを意識できる話し合いの時間をとること、そして、子どもとの関わりに対する保護者の意識高揚を図ることは十二分に意義のあるものと考え、プログラムを実施しました。

プログラムは「高2の3割、勉強時間ゼロ」の新聞記事を取りかかりに進み、終盤では、保護者同士の共通理解や情報の共有も図られ、予測困難な時代を生き抜いていく生徒たちの保護者としての心構えを再認識することができました。来年度以降も続けていきたいプログラムであると感じました。

実施に向けて

○実施に向けた準備は、とにかく簡単です！

- ・学校が準備するものは、特にありません。配布資料など、全てファシリテーターが用意します。
- ・当日の進行は、全てファシリテーターが務めます。
- ・事前打ち合わせも、簡単に済みます。

連絡・お問合せ

- ・**栃木県教育委員会事務局生涯学習課** TEL：028-623-3404
- ・**栃木県総合教育センター生涯学習部** TEL：028-665-7206

「もう少し詳しく知りたい」「ぜひ実施したい」等、遠慮なくご連絡ください。お待ちしております！